

災害時応援者用マニュアル

〔用供・工水版〕

令和8年3月



大阪広域水道企業団

<目 次>

1. はじめに	1	
(1) 本マニュアルの目的	1	
(2) 構成	1	
2. 大阪広域水道企業団の概要	1	
(1) 当企業団の概要	1	
(2) 水道用水供給事業の概要	2	
(3) 工業用水道事業の概要	2	
(4) 水道用水供給事業、工業用水道事業の管理体制	3	
3. 大阪広域水道企業団の危機管理体制及び応援受け入れ窓口	3	
(1) 当企業団の危機管理体制	3	
(2) 現地対策本部の体制及び応援受け入れ窓口	3	
4. 応援水道事業者の役割	4	
(1) 応援水道事業者にお願いしたい役割	4	
(2) 指揮命令系統	5	
(3) 現地対策本部会議	5	
5. 応援受入体制	6	
(1) 集結場所	6	
(2) 受け入れ時のやり取り	7	
(3) 宿泊施設、駐車場、食料等の確保	8	
(4) 必要な資機材等の提供	8	
(5) 持参いただきたい資機材等	9	
(6) 問い合わせ・要望対応	10	
6. 応急活動内容	11	
(1) 応急給水活動	11	
(2) 応急復旧活動	13	
7. 応援受入に伴う費用負担	18	
8. 様式集	19	
9. 資料	19	
(1) 施設配置図	(2) 施設状況(駐車場、トイレ)	(3) 送水系統図
(4) 配水系統図	(5) 管路図	(6) 配管系統図
(7) 高低図	(8) あんしん給水栓及び拠点給水設備 一覧表	
(9) あん給等配置図	(10) あんしん給水栓及び拠点給水設備使用マニュアル	
(11) 弁・蓋等の仕様		

※(2)～(11)の資料は、企業団職員から応援者に別途配布します。

1. はじめに

(1) 本マニュアルの目的

本マニュアルでは、大阪府内において大規模災害や水質汚染事故等が発生し、当企業団内で対応することができない場合、他の水道事業者等から応急給水及び応急復旧の応援水道事業者を受け入れるに当たり、事前に知っておいていただきたい内容を記し、応援水道事業体に円滑かつ迅速に応急給水・応急復旧活動を行っていただくことを目的としています。

(2) 構成

本マニュアルは、当企業団の水道用水供給事業及び工業用水道事業が応援水道事業者を受け入れる場合に、現地での応援水道事業者の窓口や役割、応援受入体制、応援活動の業務内容、応援受入に伴う費用負担の考え方等について、「地震等緊急時対応の手引き（公益社団法人日本水道協会作成：令和7年4月改訂）」（以下「日水協手引き」という。）を基本に、応援水道事業者にお伝えする内容を整理したものです。

2. 大阪広域水道企業団の概要

(1) 当企業団の概要

当企業団は、市町村との連携拡大や広域化により効率的な事業運営を行うため、大阪市を除く府内42の市町村により設立された一部事務組合です。

平成23年4月1日から、旧大阪府水道部の水道用水供給事業及び工業用水道事業を承継して事業を開始し、府内42市町村へ水道用水を供給しています。また、平成29年4月1日以降現在までに19市町村の水道事業を承継して直接住民への給水を担っています。

事業概要

水道用水供給事業※

大阪府内の42市町村に、総使用量の約77%の水道用水を供給しています。



※淀川の水を浄水処理し、家庭などへの給水を行う市町村域水道に供給（卸売）をする事業です。

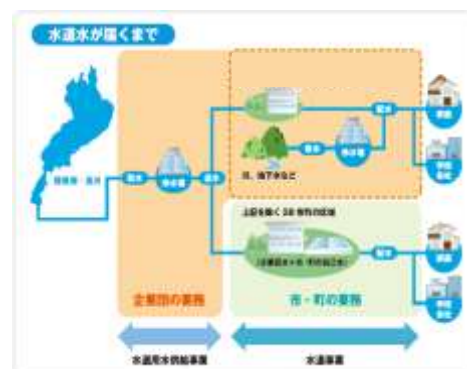
工業用水道事業

製造業をはじめ、電気・ガス・熱供給業など、府内の事業所に対して、冷却用や洗浄用等に利用する工業用水を供給しています。



水道事業

平成29年度から市町村の水道事業との統合を開始し、令和7年4月1日現在、大阪府内の19市町村において、水道事業を実施しています。



(2) 水道用水供給事業の概要

水道用水供給事業では、水源である淀川の水を3か所の浄水場（村野浄水場、庭窪浄水場、三島浄水場）で浄水処理し、大阪府内の42市町村（当企業団が水道事業を実施している19市町村を含む）に、総使用水量の約77%の水道用水を供給しています。

●施設能力

233万 m^3 /日（村野179万 m^3 /日、庭窪21万 m^3 /日、三島33万 m^3 /日）

●年間給水量

50,376万 m^3

●1日最大配水量

147万 m^3 /日

●1日平均配水量

138万 m^3 /日

●配水管延長

615km（口径75mm～口径2,200mm）

●施設数

浄水場3か所、浄水池6か所、ポンプ場16か所



(3) 工業用水道事業の概要

工業用水道事業では、水源である淀川から取水した水を大庭浄水場で凝集沈殿処理し、「産業基盤整備」及び「地盤沈下対策」として、大阪府内の25市2町において工業用水を供給しています。

●施設能力

47万 m^3 /日（大庭浄水場）

●給水対象

25市2町にある受水事業所（計414事業所）

●年間給水量

7,951万 m^3

●1日最大配水量

28万 m^3 /日

●1日平均配水量

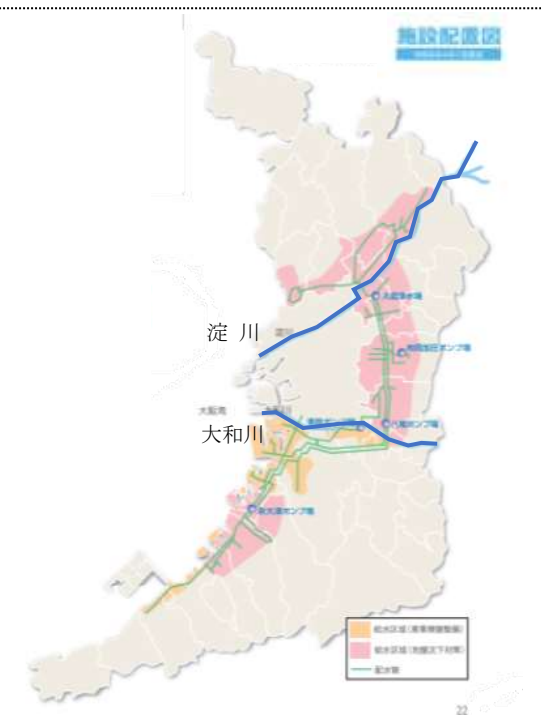
22万 m^3 /日

●配水管延長

519km（口径50mm～口径1,800mm）

●施設数

配水場1か所、ポンプ場4か所



(4) 水道用水供給事業・工業用水道事業の管理体制

当企業団の水道用水供給事業・工業用水道事業は、大阪府内を3つの区域に分けて各区域内に設置した「水道事業所」が管路やポンプ施設の管理を行っています。

なお、水道事業所以外では、浄水場、送水管理センター、水質管理センターを設け、府内42市町村へ水道用水と工業用水を安定供給する体制を整えています。

○水道事業所の担当区域

事業所	担当区域
北部 水道事業所	<u>淀川以北</u> に位置する7市3町 (<u>豊中市</u> 、 <u>池田市</u> 、 <u>吹田市</u> 、 <u>高槻市</u> 、 <u>茨木市</u> 、 <u>箕面市</u> 、 <u>摂津市</u> 、 <u>島本町</u> 、 <u>豊能町</u> 、 <u>能勢町</u>)
東部 水道事業所	<u>淀川と大和川の間</u> に位置する9市 (<u>守口市</u> 、 <u>枚方市</u> 、 <u>八尾市</u> 、 <u>寝屋川市</u> 、 <u>太東市</u> 、 <u>門真市</u> 、 <u>東大阪市</u> 、 <u>四條畷市</u> 、 <u>交野市</u>)
南部 水道事業所	<u>大和川以南</u> に位置する16市6町1村 (<u>堺市</u> 、 <u>岸和田市</u> 、 <u>泉大津市</u> 、 <u>貝塚市</u> 、 <u>泉佐野市</u> 、 <u>富田林市</u> 、 <u>河内長野市</u> 、 <u>松原市</u> 、 <u>和泉市</u> 、 <u>柏原市</u> 、 <u>羽曳野市</u> 、 <u>高石市</u> 、 <u>藤井寺市</u> 、 <u>泉南市</u> 、 <u>大阪狭山市</u> 、 <u>阪南市</u> 、 <u>忠岡町</u> 、 <u>熊取町</u> 、 <u>田尻町</u> 、 <u>岬町</u> 、 <u>太子町</u> 、 <u>河南町</u> 、 <u>千早赤阪村</u>)

※下線部は工業用水道事業の担当区域（一部で大阪市内あり）

3. 大阪広域水道企業団の危機管理体制及び応援受け入れ窓口

(1) 当企業団の危機管理体制

当企業団では、災害・事故等が発生し応援水道事業体を受け入れる状況となった場合、副企業長を危機管理本部長とする【危機管理本部】と、被災場所を管轄する水道事業所の所長を現地対策本部長とする【現地対策本部】（受援所属）を図-1のとおり組織します。

(2) 現地対策本部の体制及び応援受け入れ窓口

他の水道事業体へ応援要請を行うことを決定した場合は、【危機管理本部：応援調整班】が各水道事業体等に対して応援要請を行います。被災場所での応援水道事業体の受け入れ調整は、【現地対策本部：受援班】が行います。

また、現地対策本部では、図-1のとおり【受援班】以外に【応急給水班】及び【被害調査・復旧班】を編成し、応急給水と応急復旧対応を行うこととしています。

応援水道事業体には、現地対策本部の体制をご理解の上、企業団職員と協力しながら応急給水と応急復旧の対応にご協力願います。

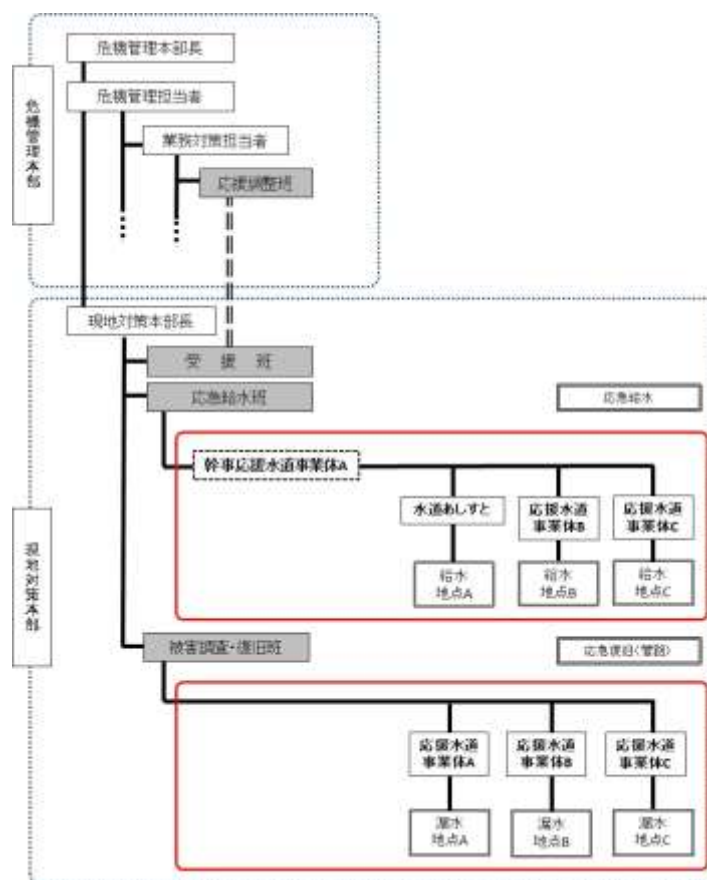


図-1 大阪広域水道企業団危機管理本部と現地対策本部の関係

※「水道あしすと」とは、水道事業者での勤務経験を有する災害時支援協力員です。

※ 現地対策本部長は、TEC-FORCE（国土交通省の緊急災害対策派遣員）と連携し、
 応急活動を行います。

4. 応援水道事業者の役割

(1) 応援水道事業者にお願いしたい役割

応援水道事業者には、現地対策本部で応急活動（【応急給水班】、【被害調査・復旧班】）の業務に従事していただきます。

応急給水活動では、「あんしん給水栓」又は「拠点給水設備」を給水基地とした給水車への給水業務等をお願いします。また、応急復旧活動では、管路の応急復旧業務で企業団職員の補助をお願いします。

※「あんしん給水栓」及び「拠点給水設備」について

「あんしん給水栓」及び「拠点給水設備」とは、災害により水道施設が被害を受け送水機能が停止した場合に、当企業団の敷地内に設置した生活用の飲料水や医療用水等を応急給水するための施設です。

あんしん給水栓や拠点給水設備の開設作業（加圧ポンプの操作及び非常用発電機の準備や換気等）は当企業団職員が実施し、応援水道事業体には給水車への給水作業や設備の監視を行っていただきます。

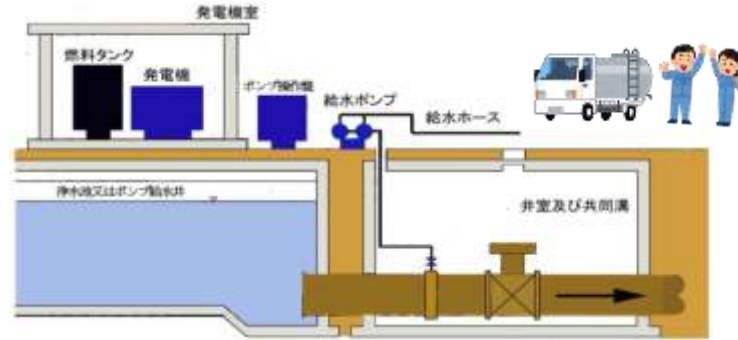


図-2 あんしん給水栓及び拠点給水設備

(2) 指揮命令系統

受援班、被害調査・復旧班の指揮命令に係る、現地対策本部、応援水道事業体の関係は、図-3のとおりです。

応援水道事業体には、【応急給水班】の指揮・総括のもとで応急給水業務に、また、【被害調査・復旧班】の指揮・総括のもとで応急復旧業務に従事していただきます。

なお、被災の規模や状況により企業団職員だけでは応急活動の直接的な指揮・総括ができない場合は、応急給水活動で応援活動の経験を有する水道事業体に「幹事水道事業体」として応急給水業務を指揮・総括していただくことがあります。

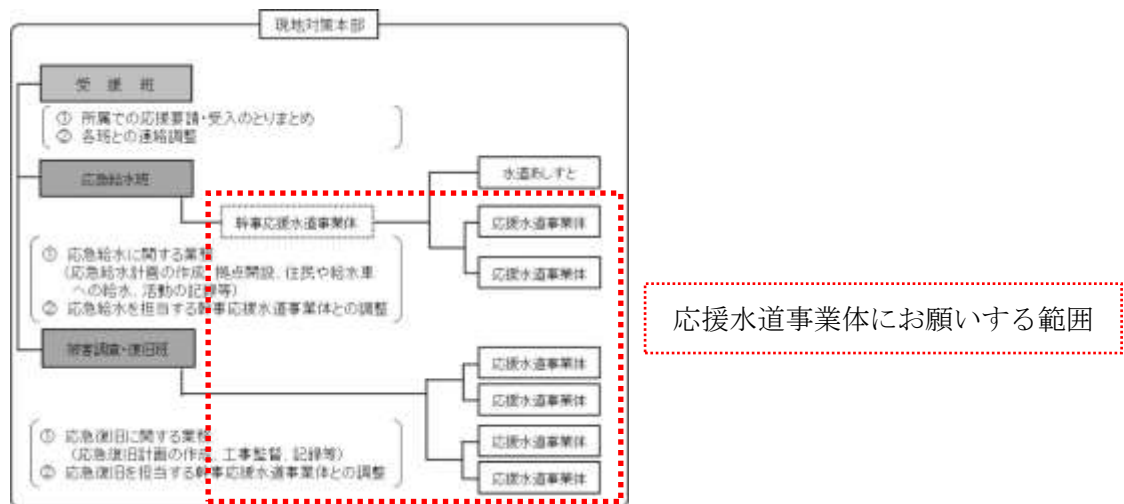


図-3 指揮命令系統イメージ図

(3) 現地対策本部会議

現地対策本部が指定した時間・場所で開催しますので、情報共有のため、応援水道事業体も参加をお願いします。

5. 応援受入体制

(1) 集結場所

応援水道事業体の第1次集結場所は、次の3水道事業所（表-1～3）の内から被害状況に応じて企業団から指定します。応援水道事業体は、指定された応援先を確認の上で参集をお願いします。

表-1 北部水道事業所の所在地等

北部水道事業所の住所等	
◆住所等	
住所	吹田市山田西 4-3-1
電話及びFAX	(TEL) 06-6875-2101 (FAX) 06-4864-9004
メールアドレス	hokubu@sbox.wsa-osaka.jp
◆施設情報	
駐車場の有無及び台数	駐車場（有）：9台程度
◆周辺道路情報	
高速出入口（最寄IC）	近畿自動車道 吹田 JCT 中国自動車道 千里 IC
〃（距離、時間）	千里 JCT：2.9 km、7分 千里 IC：2.7 km、6分
重点14路線（最寄道路）※	国道2号、国道171号、国道423号

表-2 東部水道事業所の所在地等

東部水道事業所の住所等	
◆住所等	
住所	東大阪市下小阪4丁目1番27号
電話及びFAX	(TEL) 06-6725-0081 (FAX) 06-6722-6610
メールアドレス	tobu@sbox.wsa-osaka.jp
◆施設情報	
駐車場の有無及び台数	駐車場（有）：30台程度
◆周辺道路情報	
高速出入口（最寄IC）	近畿自動車道 門真 IC 第二京阪道路 門真 JCT
〃（距離、時間）	門真 IC：6.7 km、20分 門真 JCT：7.6 km、21分
重点14路線（最寄道路）※	国道2号、国道308号

表-3 南部水道事業所の所在地等

南部水道事業所の住所等	
◆住所等	
住所	和泉市伏屋町5丁目7番10号
電話及びFAX	(TEL) 0725-57-2181 (FAX) 0725-50-2167
メールアドレス	nambu@sbox.wsa-osaka.jp
◆施設情報	
駐車場の有無及び台数	駐車場(有): 4台程度
◆周辺道路情報	
高速出入口(最寄IC)	阪和自動車道 堺IC 阪和自動車道 岸和田IC
〃 (距離、時間)	堺IC : 22.0 km、32分 岸和田IC : 25.9 km、32分
重点14路線(最寄道路)※	国道26号、大阪和泉南線

※所在地の項目「重点14路線(最寄道路)」とは、広域緊急交通路のうち、災害発生直後における災害応急対応にあたる緊急通行車両等の通行を最優先で確保するための道路として、大阪府及び府内市町村が選定した路線。

(2) 受け入れ時のやり取り

ア 受付窓口

応援水道事業体の受け入れは、現地対策本部で行います。ただし、被災状況に応じて変更する場合があります。

なお、日本水道協会の先遣調査隊や協定締結水道事業体など、初期における当企業団全体の被害調査時点で活動していただくときは、現地対策本部ではなく、危機管理本部に直接お越しいただく場合もあります。

イ 受付時に必要な内容

受付時には、日水協手引きの以下の様式に必要事項を記入の上、【現地対策本部：受援班】へ提出してください。

様式15 「応急給水応援体制報告書」

様式20 「応急復旧応援体制報告書」

現地対策本部では、応援水道事業体の到着時に、応援水道事業体の体制、責任者、車両、資機材、カーナビゲーション等の確認を行います。

ウ 手続き終了後

手続き終了後、応援水道事業体ごとに番号を割り振ります。その後、【応急給水班】、【被害調査・復旧班】と合流し、活動していただきます。

(3) 宿泊施設、駐車場、食料等の確保

ア 宿泊施設の確保

宿泊施設は、応援水道事業体で確保をお願いします。

イ 施設の状況（駐車場等の利用）

駐車場、トイレを利用できる施設は、「9. 資料（1）施設状況（駐車場、トイレ）」のとおりです。ただし、被災状況等により利用できない場合も想定されます。

また、無人の施設は基本施設されていますので、利用に当たっては【現地対策本部：受援班】に連絡の上、利用してください。

ウ 食料及び燃料の確保

食料及び燃料は当企業団から応援水道事業体へ提供することは困難であると想定されますので、応援水道事業体で確保をお願いします。

なお、食料については、応援水道事業体で必要数の確保が困難な場合、【現地対策本部：受援班】において確保・提供できるよう努めます。

エ 事務及び通信機器

現地対策本部との情報共有のため、当企業団ネットワークに接続できるパソコンを応急給水、応急復旧用に【現地対策本部：受援班】から各1台を提供します。

その他、パソコンや携帯電話などの事務用品及び通信機器については、応援水道事業体で準備をお願いします。

なお、現地対策本部では無線Wi-Fi等の通信設備は備えていないため、インターネット環境が必要な場合は、応援水道事業体において携帯Wi-Fi等の準備をお願いします。

オ 車両（緊急通行車両の手続き）

大震災等の大規模災害等が発生した場合、災害対策基本法等に基づく交通規制が実施され、車両の通行が制限されることがあるため、公安委員会から交付される緊急通行車両確認証明書及び標章の持参をお願いします。

なお、交通規制区間を通行される際は、緊急通行車両確認証明書は車両に備え付け、標章は当該車両の前面の見やすい箇所に提示してください。

(4) 必要な資機材等の提供

現地対策本部で備蓄している資機材等は、表-4、5のとおりです。応援活動で必要となる場合は現地対策本部から提供しますが、既に使用している場合もあるため、応援時にご確認をお願いします。

表-4 応急給水・防災備品の一覧（令和6年度末現在）

品目	仕様	合計 数量	北部	東部	南部	備考
			水道事業所	水道事業所	水道事業所	
応急給水栓等		6	1	4	1	
発電機		15	3	4	8	
投光器		32	14	7	11	
水中ポンプ		18	8	5	5	
エンジン式ポンプ		14	5	3	6	
残塩測定器		7	3	2	2	
加圧式給水車	1.6t 1.85t	2		1	1	
トラック		3	1	1	1	
給水タンク	2t	3	1	1	1	
応急仮設水槽	1.2～ 1.3	3	1	1	1	
給水袋	(0)	32,600	11,200	8,000	13,400	

表-5 災害用備蓄水の保管場所一覧（令和7年度末現在）

保管場所	在庫数（本）	住所	備考
本部	1,560	大阪府中央区谷町2-3-12 マルイ ト谷町ビル3階	
村野浄水場	69,499	枚方市村野高見台7-2	
庭窪浄水場	61,800	守口市大庭町2-30-18	
三島浄水場	7,008	摂津市一津屋3丁目1-1	
万博公園浄水施設	33,888	吹田市千里万博公園5-3	
大庭浄水場	960	守口市佐太中町2丁目33-91	
北部水道事業所	3,552	吹田市山田西4丁目3-1	
千里浄水池	9,600	箕面市船場東3丁目14-1	
東部水道事業所	31,824	東大阪市下小阪4丁目1-27	
南部水道事業所	25,608	和泉市伏屋町5丁目7-10	

（5）持参いただきたい資機材等

以下の資機材（表-6）については、応援水道事業体が可能な範囲で持参をお願いします。

表-6 応急給水資機材一覧

重要度	分類	名称	備考
高	安全装備類	・ヘルメット ・安全帯（フルハーネス型）	
	給水機材	・布ホース（町野式φ65） ・継手変換アダプター ・応急給水栓	・応急給水に適したもの
	給水容器	・応急仮設水槽	
	その他	・残塩測定器 ・拡声器 ・携帯電話（充電機含む） ・救急箱	
低	車両	・トラック（資材等運搬用） ・緊急通行車両の証明書、標章	・季節によりタイヤ チェーン等の凍結対策
	安全装備類	・投光器・カラーコーン ・コーンバー ・発動発電機	
	給水機材	・エンジンポンプ ・水中ポンプ	
	給水容器	・ポリタンク ・給水袋 等	
	その他	・携帯ラジオ（予備電池含む。） ・蓋カギ・バルブキー ・音聴棒・ビブス ・予備燃料及び燃料タンク	

(6) 問い合わせ・要望対応

- ・ 応援水道事業者からの問合せや要望は、【現地対策本部：受援班】で対応します。
- ・ 応援活動中に住民から問合せや要望があった場合、業務内容を説明していただくとともに、問合せ等の内容について、以下の様式の備考欄に記載の上、現地対策本部に報告をお願いします。

様式16(裏)「応急給水作業報告書」

6. 応急活動内容

(1) 応急給水活動（水道用水供給事業のみ）

【応急給水活動の基本方針】

○活動内容は、給水基地（「あんしん給水栓」及び「拠点給水施設」）での給水車への給水業務や給水施設の監視業務を基本とします。

様式16(表)「応急給水作業指示書」

- ・給水基地での応急給水活動は、応急給水活動へ向かう給水車への給水に対応するため、6時集合、7時から20時までを基本とします。

- ・活動は医療機関に向かう給水車への給水を優先する等、臨機な対応をお願いします。

○被災状況により、住民への給水活動に従事いただく場合もあります。

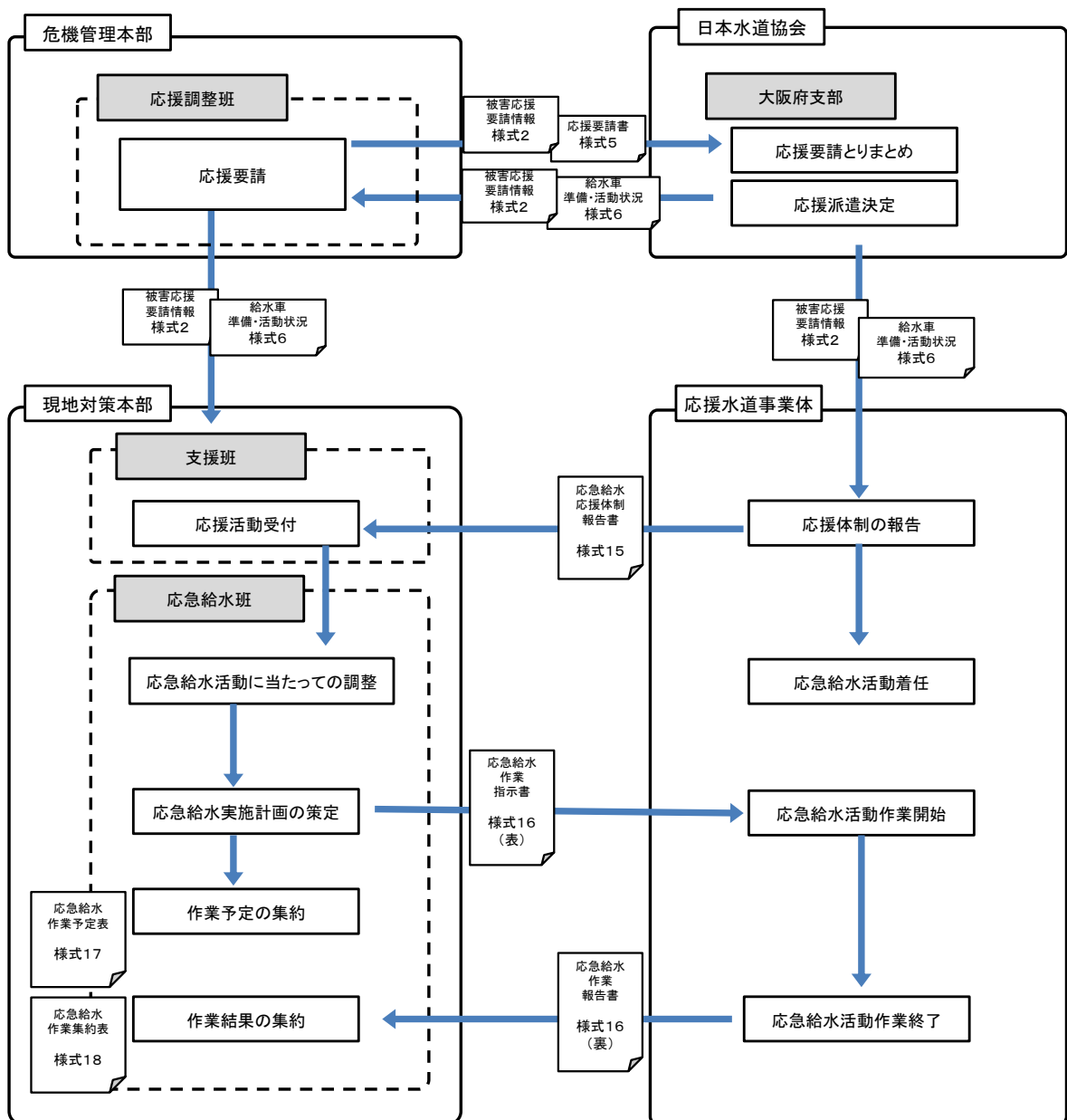


図-4 応急給水作業のフロー

ア 受付時のお願い及び確認事項

(ア) 連絡担当の選出

【現地対策本部：応急給水班】との各種調整、応援水道事業者への職員の連絡等を行う担当者を選出していただきます。

(イ) 応援水道事業者の体制の確認

応援水道事業者の体制について、確認させていただきます。

→班数（人員数）、車両、交代時期、通信連絡手段、資機材の準備状況など

イ 応急給水作業の役割分担・留意点

対応をお願いする役割分担は、①給水基地担当となります。

なお、被災状況により、②活動統括担当をお願いする場合があります。

① 給水基地担当【応援水道事業者】…給水基地で給水車の誘導や給水を実施

- 給水基地（受水池、配水池、あんしん給水栓等）に常駐し、給水車へ給水をお願いします。

なお、給水する場合は、外観、臭気、残塩濃度(0.1mg/L以上)及び味の確認をお願いします。

- 住民からの給水要望があった場合は、臨機応変な対応をお願いしますが、特に住民への給水について安全の確保や動線の確保が困難な場合は、避難所等で行われている給水場所での給水を促してください。

※例外的に、構成市町村からの要望等により、応急給水基地においてあんしん給水栓や拠点給水設備等を使用して、周辺住民への応急給水をお願いする場合があります。

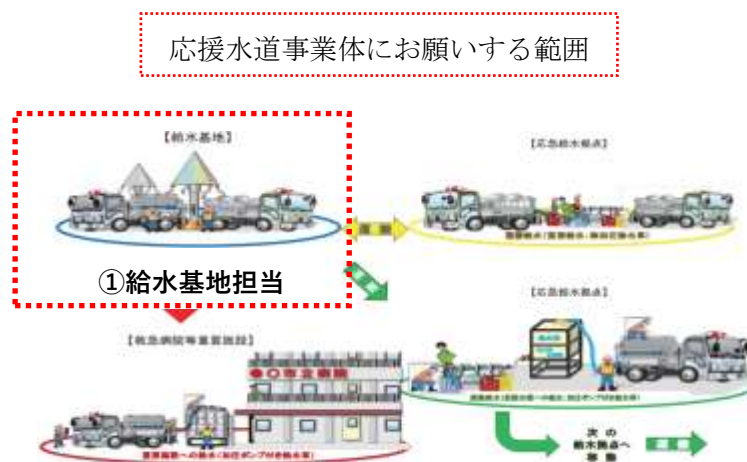


図-5 応急給水の方法（概念図）日水協手引きから引用

② 活動統括担当【※幹事応援水道事業体を設置する場合】

・・・ 応急給水作業全般の支援

- ・ 給水基地の受入れ状況を把握し、給水車の受入れを円滑に行えるように応急給水作業全般の支援をお願いします。また、応急給水拠点での活動が必要となった際には、応援水道事業体に応急給水作業の指示を行うとともに、作業指示・報告状況の把握のため、以下の様式に集約をお願いします。

様式17 「応急給水作業予定表」

様式18 「応急給水作業集約表」

- ・ 【現地対策本部：応急給水班】及び担当①との連絡調整をお願いします。

ウ 作業報告及び現地対策本部会議

(ア) 「応急給水作業報告書」の作成・提出

応援水道事業体は、応急給水作業の報告を毎日作成し、以下の様式により【現地対策本部：受援班】へ報告をお願いします。

様式16(裏) 「応急給水作業報告書」

(イ) 現地対策本部会議への参加

現地対策本部が指定した時間・場所で開催しますので、情報共有のため、応援水道事業体も参加をお願いします。

(2) 応急復旧活動

応急復旧活動の基本方針

○活動内容は、現地対策本部の企業団職員が行う応急復旧業務（管路の漏水復旧業務）の補助を基本とします。

○当企業団職員と応援水道事業体との役割イメージは表-7のとおりです。

応援水道事業体の役割→被害状況調査の補助／応急復旧工事の補助／水張・洗管作業の補助／活動内容記録の補助

業務名	業務内容	受援者	応援者
		企業団	応援事業体 工業団地水道事業体
①被害状況調査	断水、漏水など被害箇所調査	○	○
②応急復旧計画の立案	必要な人員や資機材の確保の検討 復旧期間の設定 送配水運用計画の検討 被害箇所の優先順位の検討	○	
③応急復旧工事	工事方法の決定 工事監督業務 関係者との調整 〔道路管理者及び河川管理者 地下埋設物管理者 警察 等〕	○	○
④水張・洗管	水張、洗管計画の立案及び指揮	○	○
	突水消却との運用調整	○	
⑤記録	バルブ操作	○	○
	管線探検	○	○
	水質検査	○	○
⑥記録	活動内容の記録	○	○
	要領や質問等の記録	○	○

応援水道事業体をお願いする範囲

表-7 当企業団職員との役割のイメージ

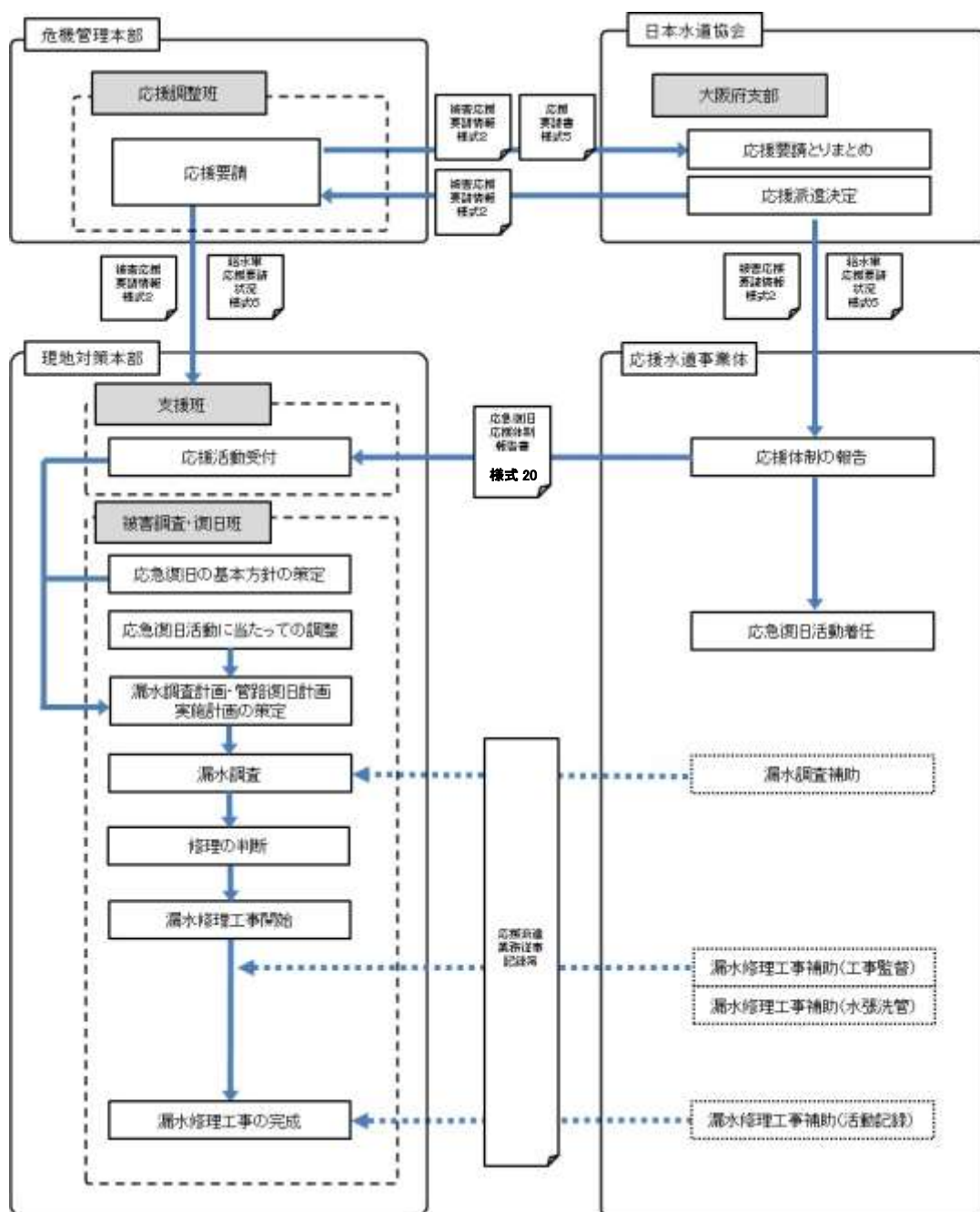


図-6 応急復旧作業のフロー

ア 受付時のお願い及び確認事項

(ア) 連絡担当の選出

【現地対策本部：被害調査・復旧班】との各種調整、応援水道事業者への職員の連絡等を行う担当者を選出いただきます。

(イ) 応援水道事業者の体制の確認

応援水道事業者の体制について、確認させていただきます。

→班数（人員数）、持参資機材、連絡手段、作業可能な内容、派遣期間など

イ 応急復旧作業の役割

役割分担は、①漏水調査補助、②漏水修理工事補助の2つがあり、各々の役割は次のとおりです。

①漏水調査補助【応援水道事業者】・・・漏水状況の調査の補助

- ・住民や公共機関からの通報により現地で漏水調査を行う場合、企業団職員と一緒に管路巡視に従事し、それに伴う作業補助（交通整理、バルブ操作、流水音の確認、残塩測定など）をお願いします。

②漏水修理工事補助【応援水道事業者】・・・漏水場所の修理工事の補助

- ・漏水修理工事監督、水張・洗管作業、活動記録・報告書作成業務について、企業団職員と一緒に漏水修理工事に従事し、その作業補助をお願いします。

ウ 応急復旧作業の手順・確認事項等

（ア）被害状況の調査、把握（企業団職員が対応）※応援水道事業者が補助

- ・水源から給水に至るまでの送配水系統に沿って被災状況を調査
- ・住民及び公共機関からの情報収集

（イ）応急復旧計画の立案（企業団職員が対応）

- ・管路の被害が大きい場合は、「あんしん水道ライン」上にある「重要施設」から復旧します。
- ・復旧目標及び復旧計画の進捗状況を現地対策本部会議で応援水道事業者と情報を共有します。

（ウ）応急復旧工事の実施（企業団職員が対応）※応援水道事業者が補助

- ・応急復旧の内容について施工業者と打ち合わせ後、企業団職員が工事監督業務を行いますので監督補助（段階確認、材料確認など）をお願いします。
- ・応急復旧の範囲は、図-7のとおりです。
※導水管、送水管：既設管を修理
※送水管は、市町村分岐までの管路が対象となります。

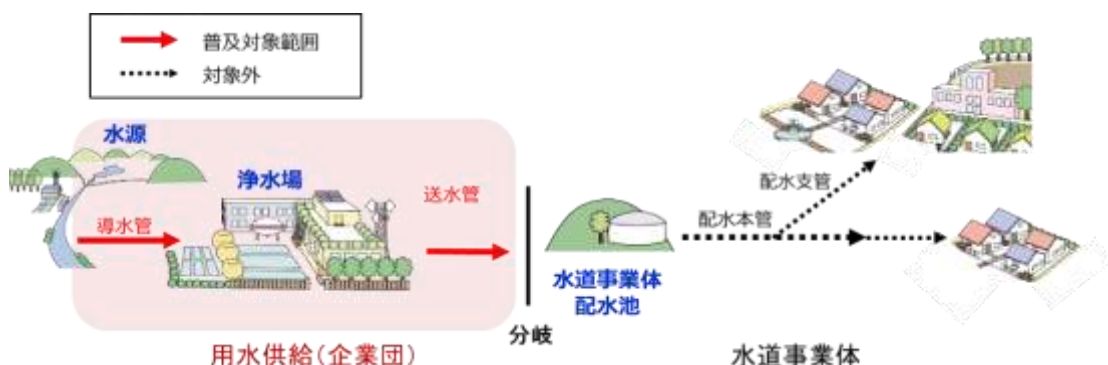


図-7 応急復旧の範囲

(エ) 水張・洗管計画の立案等（企業団職員が対応）※応援水道事業者が補助

- ・【現地対策本部：被害調査・復旧班】は、応急復旧工事の進捗状況を確認の上、水張・洗管計画を立案します。
- ・【現地対策本部：被害調査・復旧班】は、水張・洗管作業で操作するバルブ及び空気弁並びに管路巡視の範囲を明確にした上で、企業団職員及び応援水道事業体に水張・洗管作業を指示しますので、作業の補助をお願いします。
- ・漏水修理工事補助は、復旧した区間ごとに水質検査を実施し、外観、臭気、濁度（2度以下）、残塩濃度(0.1mg/L以上)及び味を確認の上、【現地対策本部：被害調査・復旧班】に報告してください。

(オ) 活動記録、報告書の作成（企業団職員が対応）※応援水道事業者が補助

- ・災害復旧にかかる国庫補助金交付申請を想定した資料の作成に向けて、作業の補助をお願いします。

(カ) 応援派遣業務従事記録簿の作成（応援水道事業者が対応）

- ・応援派遣業務従事記録簿は、応援水道事業者の業務内容及び時間を双方で確認しておくため、【現地対策本部：被害調査・復旧班】と確認の上で作成してください。

エ 現地対策本部会議

- ・現地対策本部が指定した時間・場所で開催しますので、情報共有のため、応援水道事業者も参加をお願いします。

参考 用共・工水の応急復旧における施設の特徴的事項

(1) 使用資材

①用供

- ・基本、鋳鉄管（一部、鋼管等も使用）
- ・口径はφ50～2600、管路延長は約608km、耐震管率は約40%（R3年度 時点）

②工水

- ・基本、鋳鉄管（一部、鋼管等も使用）
- ・口径はφ50～1800、管路延長は約518km、耐震管率は約15%（R3年度 時点）

(2) バルブ等属具（標準）

- ・仕切弁：キャップはJIS規格
φ500 以下は、水道用ダクタイル鋳鉄仕切弁
φ600 以上は、バタフライ弁（ゴムシート型、メタルシート型）
- ・流量調弁：
メタルシート型バタフライ弁、多孔可変オリフィス弁、片勾配仕切弁等が用いられる。バイパス管あり。人が入れるピット内に設置。
- ・消火栓：補修弁（ボールバルブ。レバー式）付き。
- ・鉄蓋類：丸形仕切弁鉄蓋
JWWA-B-132円型1号（仕切弁）円型4号
- ・空気弁：

送配水管口径	空気弁分類	空気弁口径
φ75～φ300	単口空気弁	φ25
φ350～φ600	双口空気弁	φ75
φ700～φ900	双口又は急速空気弁	φ100
φ1000～φ1650	双口又は急速空気弁	φ150
φ1800～	急速空気弁	φ200

7. 応援受入に伴う費用負担

・応援費用の負担区分は、応援協定等に基づくものとし、取り決めのないものは日水協手引きを参考に、原則次の区分（表-8）により負担します。

表-8 費用負担区分一覧

項目	具体的費用	被災水道 事業体	応援水道 事業体	
人件費	超過勤務手当	○		
	深夜勤務手当			
	特殊勤務手当			
	管理職員特別勤務手当			
	旅費（日当を含む）			
	給料			
	調整手当等基本的な手当			○
車両・機材等の費用	燃料費（ガソリン、軽油）	○		
	修理費			
	賃借料			
	輸送料			
	損料			○
滞在費用	食料費（弁当）	○		
	宿泊費（仮設ハウス設置費用）			
	携行する寝袋及び食料費			
	テント等			
	被服（防寒服・割当のない職員分・クリーニング代）			○
	生活用品			
	その他福利厚生費			
その他 事務費等	写真代「工事確認用」	○		
	作業用消耗品			
	通信費			
	トランシーバー			
	消火器			
	地図			
	コピー代			
	写真代「記録・広報用」			○
	その他事務用品			
補償関係 費用	応援職員の傷病に対する応急的な治療費	○		
	第三者に対する損害賠償金の負担「応援作業中」			
	応援職員の災害補償費「出張中の公務災害」			○
	第三者に対する損害賠償金の負担「往復途上」			

8. 様式集【日本水道協会】

応急給水活動様式一覧は、表-9のとおりです。

表-9 応急給水活動様式一覧

種別	現地対策本部 作成	応援水道 事業体作成	名称	作成 時期
応援活動 参加		様式15	応急給水応援体制報告書	到着 変更時
		様式20(表裏)	応急復旧応援体制報告書	
応急給水 活動	様式16(表)※		応急給水作業指示書	毎日
		様式13(裏)	応急給水作業報告書	
	様式17※		応急給水作業予定表	
	様式18※		応急給水作業集約表	
応急復旧 活動			応援派遣業務従事記録簿	随時

※幹事応援水道事業体に作成していただく場合もあります。

その他の様式は以下のリンク先から確認できます。

http://www.jwwa.or.jp/info/jishin_kunren_04.html

9. 資料

- (1) 施設配置図
- (2) 施設状況（駐車場、トイレ）
- (3) 送水系統図
- (4) 配水系統図
- (5) 管路図
- (6) 配管系統図
- (7) 高低図
- (8) あんしん給水栓及び拠点給水設備 一覧表
- (9) あん給等配置図
- (10) あんしん給水栓及び拠点給水設備使用マニュアル
- (11) 弁・蓋等の仕様

応急給水応援体制報告書

作成日	年 月 日	派遣期間	月 日() ~ 月 日()
-----	-------	------	-----------------

記入上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応援班到着時、応援班構成変更時に作成し、現地の水道給水対策本部に提出
----------	--

○応援班連絡先

事業体名		応急給水班数	班
責任者	氏 名 : 連絡先電話 :	車両総数	台
事務担当者	氏 名 :		
給水要員	氏 名 :		
給水要員	氏 名 :		
給水要員	氏 名 :		
	氏 名 :		

○応援班構成

人 員	給水用具	車両台数 (タンク容量)	備 考
人			
人			
人			
人			
合 計			
人			

(表)

応急給水作業指示書

作成日	年 月 日	備考	
-----	-------	----	--

記入上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・給水車ごとに作成 ・作業開始前にコピーを水道給水対策本部に提出 ●印箇所：水道給水対策本部が記入 ○印箇所：応急給水班が記入
--------------	--

●作業指示内容

事業体名			
給水車	タンク容量	m ³	加圧 有・無
給水拠点			
給水基地			
特記事項			

●作業指示者 ()

事業体名	
担当者	氏 名： 連絡先電話：

○現地応急給水隊 (応急給水班)

事業体名		作業員数	人
連絡責任者	氏 名： 連絡先電話：	車両ナンバー	

様式17

(被災水道事業体用)

応急給水作業予定表

No.

作成日		備考	
-----	--	----	--

記入上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の給水作業開始直後、作業指示書【様式16(表)】を基に水道給水対策本部が作成 ・給水活動の状況把握が目的
--------------	--

作成者	氏名： 連絡先番号：
-----	---------------

NO.	事業体名	代表者氏名 連絡先番号	作業員数 (人)	タンク容量 (m ³)	加圧	給水拠点	備考
1					有・無		
2					有・無		
3					有・無		
4					有・無		
5					有・無		
6					有・無		
7					有・無		
8					有・無		
9					有・無		
10					有・無		
11					有・無		
12					有・無		
13					有・無		
14					有・無		
15					有・無		
計	応援事業体数	給水車(台)	名	m ³	有 無	台(m ³) 台(m ³)	

応急給水作業集約表

作成日		備考	
-----	--	----	--

記入上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の給水作業終了後、作業報告書【様式16(裏)】を基に水道給水対策本部が作成 ・実際の給水活動の集約が目的
----------	--

作成者	氏名： 連絡先番号：
-----	---------------

NO.	事業体名	給水車台数	主な給水拠点	給水量	備考 (給水車の内訳等を記入)
1				m ³	
2				m ³	
3				m ³	
4				m ³	
5				m ³	
6				m ³	
7				m ³	
8				m ³	
9				m ³	
10				m ³	
11				m ³	
12				m ³	
13				m ³	
14				m ³	
15				m ³	
計		0		0 m ³	

(表)

No.

応急復旧応援体制報告書

作成日	年 月 日	派遣期間	月 日() ~ 月 日()
-----	-------	------	-----------------

記入上の留意事項	・応援班到着時、及び応援班構成変更時に作成し、 現地の水道給水対策本部に提出する
----------	---

○応援班連絡先

事業体名		通水及び 漏水調査班数	班
総括責任者	氏 名： 連絡先電話：	応急復旧班数	班

○応援班構成

作業内容	人員(人)	持参資機材等	備考
総括班 (連絡調整)			
総括班 (記録)			
通水及び漏水調査班 (通水及び漏水調査)			
修繕班 (配水管、給水管修理)			
修繕班 (配水管、給水管修理)			
合計			

(表)

漏水調査受付書

記入上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none">通報者から可能な限り詳細を聞き取る。住宅地図、配管図に漏水箇所を明示し添付。
--------------	---

受付番号	
受付日時	年 月 日 曜日 時 分
通報者	氏名： 連絡先電話： 住所：
受付者	事業体名： 氏名： 電話：

場 所	
漏水状況	場 所 <input type="checkbox"/> 道路（車道・歩道・私道・その他） <input type="checkbox"/> 宅地内（メータ上流・下流）
	舗 装 <input type="checkbox"/> アスファルト <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂利 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	道 路 <input type="checkbox"/> 陥没 <input type="checkbox"/> 隆起 <input type="checkbox"/> 割裂 <input type="checkbox"/> 損傷なし <input type="checkbox"/> その他（ ）
	漏 水 <input type="checkbox"/> 漏水中 <input type="checkbox"/> 漏水痕 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	漏水量 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小
備 考	

(裏)

漏水調査報告書

記入上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地調査後に記入し、水道給水対策本部に提出。 ・ 仮配管、仕切弁新設等、管路を修理しない復旧工事について備考欄に内容を記載。
--------------	---

調査番号		
調査日時	年 月 日 曜日 時 分	
調査担当者 (代表者)	事業体名：	氏名： 電話：
場 所		
漏水状況	区 分	<input type="checkbox"/> 道路（車道・歩道・私道・その他） <input type="checkbox"/> 宅地内（メータ上流・下流）
	舗 装	<input type="checkbox"/> アスファルト <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂利 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	道 路	<input type="checkbox"/> 陥没 <input type="checkbox"/> 隆起 <input type="checkbox"/> 割裂 <input type="checkbox"/> 損傷なし <input type="checkbox"/> その他（ ）
	漏 水	<input type="checkbox"/> 漏水中 <input type="checkbox"/> 漏水痕 <input type="checkbox"/> 修理済み <input type="checkbox"/> その他（ ）
	漏水量	<input type="checkbox"/> 地上流出（大 中 小） <input type="checkbox"/> 地下流出（大 中 小）
漏水確認	残 塩	<input type="checkbox"/> あり（ mg/l） <input type="checkbox"/> なし
漏水管路	<input type="checkbox"/> 導水管 <input type="checkbox"/> 送水管 <input type="checkbox"/> 配水管（配水本管・配水支管） <input type="checkbox"/> 給水管（メーター上流） <input type="checkbox"/> 給水管（メーター下流） <input type="checkbox"/> 不明	
修 理	必要性	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 経過観察
	緊急性	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 通常 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> その他（ ）
備 考	※ 修理者に対して指示がある場合は具体的に記入してください。 <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	

(表)

管路修理報告書

記入上の 留意事項	・施工前と施工後の配管図は、可能な限り詳細に記入
--------------	--------------------------

工事番号												
施工期間	年	月	日	曜日	時	分	～	月	日	曜日	時	分
監督者	事業体名：	氏名：			電話：							
施工業者 (代表者)	施工業者名：	氏名：			電話： - -							

場 所											
被害施設	<input type="checkbox"/> 管路 <input type="checkbox"/> 付属設備 <input type="checkbox"/> その他()										
修理管路	漏水管路	<input type="checkbox"/> 導水管 <input type="checkbox"/> 送水管 <input type="checkbox"/> 配水管 (配水本管・配水支管) <input type="checkbox"/> 給水管 (メーター上流) <input type="checkbox"/> 給水管 (メーター下流)									
	口 径										
	材 質	<input type="checkbox"/> DIP <input type="checkbox"/> CIP <input type="checkbox"/> SP <input type="checkbox"/> VP <input type="checkbox"/> ポリエチレン <input type="checkbox"/> LP <input type="checkbox"/> その他()									
	継手形式	<input type="checkbox"/> A形 <input type="checkbox"/> K形 <input type="checkbox"/> T形 <input type="checkbox"/> S、SII形 <input type="checkbox"/> NS形 <input type="checkbox"/> GX形 <input type="checkbox"/> KF、UF形 <input type="checkbox"/> フランジ形 <input type="checkbox"/> 溶接 <input type="checkbox"/> ねじ込み <input type="checkbox"/> TS <input type="checkbox"/> RR <input type="checkbox"/> RR (ロング) <input type="checkbox"/> 融着 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他()									
付属設備	<input type="checkbox"/> 消火栓 <input type="checkbox"/> 空気弁 <input type="checkbox"/> バルブ・止水栓 <input type="checkbox"/> サドル分水栓 <input type="checkbox"/> その他()										
被害状況	管路	<input type="checkbox"/> タテ割れ <input type="checkbox"/> ヨコ割れ <input type="checkbox"/> 折れ <input type="checkbox"/> 破断 <input type="checkbox"/> その他()									
	継手	<input type="checkbox"/> 抜け <input type="checkbox"/> ズレ <input type="checkbox"/> 割れ <input type="checkbox"/> ゴム輪 (破断、ズレ) <input type="checkbox"/> その他()									
	付属設備	<input type="checkbox"/> 機能不全 <input type="checkbox"/> 抜け <input type="checkbox"/> 割れ <input type="checkbox"/> 変形 <input type="checkbox"/> ズレ <input type="checkbox"/> その他()									
地盤状況	道路状況	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 陥没 <input type="checkbox"/> 隆起 <input type="checkbox"/> 割裂 <input type="checkbox"/> その他()									
	クラック幅	<input type="checkbox"/> 管直角方向 <input type="checkbox"/> 水平方向 _____ cm (1cm 以上を記入)									
		<input type="checkbox"/> 段差 (沈下量) _____ cm (漏洩位置から 15m 範囲内 (全体で 30m))									
	地盤の傾斜	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 管軸方向 <input type="checkbox"/> 管直角方向 (傾斜角度≒ _____ °)									
液状化	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し ※近くに噴砂跡の有無					盛土		<input type="checkbox"/>			
備 考											

管路被害算定表 (管種・口径・被害形態別)

作成日時	月 日	時現在	被災事業体名：	記入上の 留意事項	管種・継手形状ごとに分類 し集計する。
記入者	氏名：		連絡先電話：		

管種・継手													
被害形態	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備	
口径	40mm												
	50mm												
	75mm												
	100mm												
	125mm												
	150mm												
	200mm												
	250mm												
	300mm												
	350mm												
	400mm												
	500mm												
	600mm												
	700mm												
	800mm												
	mm												
	mm												
mm													
小計 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
管路延長 (km)	0						0						
被害率 (件/km)	0.00						0.00						

※被害率の算出にあたっては、付属設備の被害件数を除く

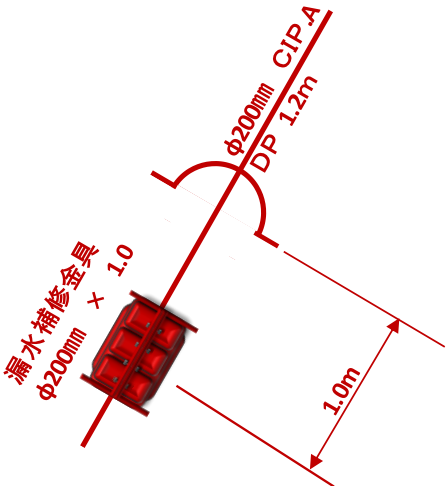
管種・継手													
被害形態	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備	
口径	40mm												
	50mm												
	75mm												
	100mm												
	125mm												
	150mm												
	200mm												
	250mm												
	300mm												
	350mm												
	400mm												
	500mm												
	600mm												
	700mm												
	800mm												
	mm												
	mm												
mm													
小計 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
管路延長 (km)	0						0						
被害率 (件/km)	0.00						0.00						

※被害率の算出にあたっては、付属設備の被害件数を除く

合計	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備
	0	0	0	0	0	0
管路全延長 (km)	0.0					
被害率 (件/km)	0.00					

黒板（撮影表示板）の作成

工事名	○ ○ ○ ○ 地震災害復旧工事	……工事名として左記のように記入
工 種	○○-○○-○○ 配水管(φ 200 mm CIP. A)漏水修理	……整理番号、受付番号等を記入
位 置	○○市 △町 ○丁目 ●番地先	……住所（施工場所）を記入
撮影月日	○ 年 ○ 月 ○○日	……撮影年月日を記入
略 図	施工者	……施工者名を記入 修理に使用した材料・口径・延長を 図化する（管割図）



(○○県支部 □▽市水道局)

凸凹建設(株)

現場代理人 ○○ ●▽□

連絡先 090-9999-○○●●

9.資料

(1) 施設配置図

大阪広域水道企業団用水供給事業 給水区域図

令和6年12月14日現在



大阪広域水道企業団工業用水道事業 給水区域図

令和6年12月14日現在

